



# 議会だより

## 夏の楽しい思い出に夕涼み会



**正副議長が交代 6月定例会**  
新議長に松浦議員、副議長に富澤議員

ページ  
・2

**常任委員会 レポート** ..... 8

**町政を問う! いっぱん質問** ... 10

**私たちの議会傍聴記(3名)** ..... 16

### 志加浦保育園 年長組の皆さん

7月には、町内の各保育園で恒例の夕涼み会が行われました。

志加浦保育園ではかわいらしい浴衣姿の園児らが、夏の楽しい思い出に、保護者と一緒に踊りなどを楽しみました。

\* 議会へのご意見、議会だよりのご感想をお寄せ下さい (E-メール: gikai@town.shika.lg.jp)

\* 町と議会の情報は「志賀町ホームページ」でご確認下さい (http://www.town.shika.lg.jp)



志賀町の発展と  
町民福祉の推進に努力



富澤副議長（左）と松浦議長（右）

議長に 松浦 恒義議員  
副議長に 富澤 軒康議員

6月定例会の最終日、小田芳治議長、桜井俊一副議長から、それぞれ正副議長の辞職願が提出され、全会一致で辞職が許可されました。引き続き、正副議長の選挙が行われ、議長に松浦恒義氏(60歳)、副議長に富澤軒康氏(51歳)がそれぞれ当選しました。

また、本定例会では、平成18年度一般会計補正予算など、報告14件、議案22件、町議会議員の公共事業等の請負契約対象除外に関する決議等の議員提出議案3件を審議しました。うち契約案件5件と決議1件は賛成多数で、その他案件はそれぞれ全会一致で可決・承認されました。

議長の要職歴

平成17年9月から新町議会教育民生常任委員長をはじめ、旧町副議長、教育民生常任委員長、決算特別委員長等を歴任。3期。

副議長の要職歴

平成17年9月から新町議会教育民生常任副委員長をはじめ、旧町決算特別委員長、産業建設常任副委員長等を歴任。2期。

常任委員会委員の変更

正副議長の交代により次の委員会に変更がありました。

教育民生常任委員会委員長

- 新：竹内 利長議員
- 旧：松浦 恒義議員
- 副委員長
- 新：南 政夫議員
- 旧：富澤 軒康議員

統合中学校の身障者対策を向上

契約・変更

◇統合中学校校舎棟建築工事の変更

身障者対策向上のため玄関一部を自動ドアに変

更、壁面の汚れ防止材塗布の追加等。1千470万円増額、18億1千545万円に変更、大成・治山社特定建設工事共同企業体。(全員賛成)

◇統合中学校校舎棟電気工事の変更

学校管理体制強化のため、PHSを併用した電話設備を導入。786万円増額、1億7千533万円に変更、北陸電気工事・桜井電気工事特定建設工事共同企業体。(全員賛成)

◇公共下水道富来浄化センター土木・建築工事

2億4千675万円、石田工業株。(全員賛成)

◇統合中学校建設工事(外溝Ⅱ)

7千875万円、大和建设株。(賛成25、反対4)

17年度予算

■収入・事業費の確定等により各会計予算を補正。

◇一般会計

1億4千158万円減額、総額120億7千131万円。

◇国民健康保険会計

7千298万円増額、総額17億4千50万円。

◇老人保健会計

9千321万円減額、総額20億3千258万円。

◇農業集落排水会計

830万円減額、総額5億7千609万円。

◇公共下水道会計

2千335万円減額、総額11億1千877万円。

◇地域し尿処理会計

480万円減額、総額1億6千246万円。

◇介護保険会計

\*保険事業勘定 7千989万円減額、総額14億8千821万円。

\*サービス事業勘定

134万円減額、総額480万円。

18年度予算

◇一般会計(補正1号)

17年度において、統合中学校体育館建設に係る電源立地地域対策交付金が未収となったため、補てん財源として繰上充用金を措置。

◇一般会計(補正2号)

赤崎漁港海岸護岸施設の冬期風浪被災に係る災害復旧事業等。

6千690万円増額、総額148億529万円。(以上2件・全員賛成)

建設中の統合中学校(7月20日現在)







はまなす園が施設の運営管理を行うデイサービスセンター

### 指定管理者の指定

◇志賀町デイサービスセンターの完成に伴い、はまなす園に当該施設の運営を行う指定管理者について指定を行う。  
(全員賛成)

### 財産の取得

◇富来中学校コンピュータ教室機器購入  
コンピュータ教室機器42台を1千148万円で購入。石川コンピュータセンターから購入するための契約を締結。(全員賛成)

### 条例の制定と改正

◇地域振興拠点施設基金条例  
温浴施設シ・オンの修及び設備の維持管理に要する経費に充当するため、基金を設置。

◇町非常勤職員の公務災害補償条例  
法改正によるもの。

◇税条例  
法改正により、個人町民税の所得割税率の改正、定率減税の廃止等をするもの。

◇国民健康保険税条例  
法改正による18年度からの個人住民税の公的年金控除の見直し、老年者控除の廃止に伴う激変緩和措置をするもの。

### 都市計画税条例

法改正により、18年度固定資産の評価替えに伴うもの。

### 税条例

法改正により、個人町民税の所得割税率の改正、定率減税の廃止等をするもの。

### 国民健康保険税条例

法改正による18年度からの個人住民税の公的年金控除の見直し、老年者控除の廃止に伴う激変緩和措置をするもの。

### 長期継続契約締結条例

法改正により、条例で規定することで長期継続契約が可能となったことから、対象及び期間を定め条例を制定。

### 町職員勤務時間、休暇等条例

人事院規則改正に伴い、午前午後の各休憩時間を廃止し、お昼の休憩時間を1時間とすることで、通常勤務時間を午前8時30分から午後5時30分とするもの。

### 町特殊勤務手当条例

志賀クリニックの院長、副院長の配置に伴い、医療調査研究手当を見直しするもの。  
(以上9件・全員賛成)

### 町道認定

◇今田、尊保、和田、富来領家町、坪野地内の5路線を新たに認定。  
(全員賛成)

### 農業委員の議会推薦

在任特例期間満了に伴い、新たな農業委員の議会推薦が行われました。

議会から推薦する農業委員は4人とし、下記写真の方を推薦しました。



竹内利長氏 (大福寺)



安地 博氏 (直海)



角花 進氏 (鹿頭)



福田英雄氏 (田原)

### その他の議員提出議案

◇永住外国人の地方参政権付与に関する意見書  
提出者 辻武美議員  
ほか7名

◇道路整備促進の意見書  
提出者 角花進議員  
ほか9名

県内どこに住んでも快適な生活が営める「全県ネットワーク」実現のため、道路整備をより一層推進しなければならない。地域の安心・安全な道路網の整備のための推進を国に求める。  
(全員賛成)

### 討論

賛成します



大根 明議員

本定例会に提出した議員の物品や請負工事の自粛の決議案は昨年9月から数回に渡って、激しい議論が交わされてきて未だに可決されていない。



萬上 俊之議員

地方自治法第92条の2、いわゆる議員の兼業禁止については、そもそも厳守すべき法律であり、明らかに議員の支配力が及

### 議員提出議案

議員の自粛に関する決議を採択  
◇町議会議員の公共事業等の請負契約対象除外に関する決議

提出者 松島信夫議員ほか14名

(賛成 28、反対 1)

(全文)

本町議会議員は、町民の代表者として町民により付託された町政全般にわたって誠心誠意これに応えていかなければならない。

特に、公共事業の請負、物品の納入、業務委託については、公正でガラス張りであればならないが、議員の兼業禁止の地方自治法第92条の2について、統一見解を確立し、民主的な行政を進めていくことは議会の大きな使命であり、責務であると考えらる。

よって、議員の公共事業の請負契約(災害、人命に関わる緊急を要するものは除く)については、町民の疑惑を排除するために、議員の配偶者または3親等以内の血族及び姻族の経営する企業及び議員が事実上の支配力を持つと思われる企業は、請負、物品の納入、業務委託契約対象者とならないことを決議する。

平成18年7月12日

志賀町議会

### もっと詳しく知りたい方は

6月定例会の各議案に対する議員の賛成・反対の一覧表や本会議の内容を記録した会議録を町ホームページで閲覧することができます。

もっと詳しく内容を知りたい方は下記アドレスまでアクセスした後、議会情報から閲覧してください。

HPアドレス  
<http://www.town.shika.lg.jp/>



# 談合疑惑 町から経緯を聞く

新聞、ニュース等マスコミに報じられた談合疑惑について、その経緯や今後の入札の改善・改革について、町から説明を受けましたので、その内容を町民の皆様にご報告します。

## 談合情報に関する経緯

- 6月19日
- ◇北國新聞社より5件の工事について、6月22日の入札で談合が行われている旨の情報が町へ寄せられる。
  - ◇公正入札調査委員会委員長に調査の必要の有無について協議するが、談合の日時および参加業者等の具体的事実が記されていない為、調査の必要が認められないと結論。
  - ◇業者に工事内訳書の提出を指示。
- 6月22日
- ◇入札執行。
- 指摘のあった5件の工事全てが談合情報どおりの落札者であったため、契約保留の措置を取る。



マスコミが取材に訪れ多くのテレビカメラが並ぶ議場

- 6月23日
- ◇第1回公正入札調査委員会。業者の事情聴取を決定。担当課で工事内訳書の点検作業を開始。
- 6月26日
- ◇業者の事情聴取。誓約書の提出を要求。

- 6月27日
- ◇事情聴取者の判定会議。談合の事実があったとの確認は得られないとの判定。
  - ◇第2回公正入札調査委員会。事情聴取の結果、工事内訳書の点検結果、落札率の検討、以上の協議結果、談合の事実があったと確認が得られないため、落札者と契約を行うことを決定。
- 6月28日
- ◇業者へ仮契約を行う旨を通知。
- 6月30日
- ◇公正取引委員会へ談合情報に関する資料の送付。

## 今後の入札制度の改善・改革

- ◇これまで入札ごとに純工事費を事前公表していたが、その公表を廃止する。
- ◇入札参加業者数を今までもよりも拡大して、大勢の業者に入札に参加してもらう。
- ◇制限付一般競争入札を導入する場合の工事金額、意向確認型指名競争入札の検討、談合による独占禁止法違反に伴う指名停止期間の延長などを検討。
- ◇工事等請負業者選考委員会と公正入札調査委員会の委員長を別々の助役にし、責任分野を別にすることを検討。
- ◇談合にかかる損害賠償の予約条項を設ける（志賀町建設工事標準契約約款に賠償の予約条項を6月30日付け

町の説明に対し、議員からたくさんの質問、意見がありました。主なものを掲載します。

**問** どうして落札率が99・8パーセント等と高くなるのか。数字が漏れているのではないか。

**答** 要因として予定価格の設定にあるのではない。志賀町の場合、設計額からある程度の割合を引いて予定価格を入れて入札するので必然的に落札率が高くなる。引く理由は歳出を節減したいからである。

**問** 落札率において、予定価格が流失している懸念を持っているか。

**答** 持っていない。純工事費を公表していたため、結果的に高くなったと考える。

**問** 掛けられた疑惑に対し、執行部側は潔白を証明する必要があり、説明責任を果たしていただきたい。外部の方を入れて改めて調査すべきでないか。

**答** 談合情報マニュアルに沿って行っている。根拠があるものについては説明責任を果たさなければならぬ。根

拠のないものに、審査委員会等に外部の方を入れていいものかと思う。

**問** 予約条項が10%になるが、世間的には20%だ。翌日すぐに新聞で10%なんて甘いのではないかと出ている。

**答** 県のものを参考にした。少ないかどうかは分からないが、どこか参考にしてパーセンテージを出さなくてはならない。

**問** 匿名情報であっても確認しながら対応していくか、中身は精査していかないといけないか。

**答** 具体的に事実があれば、当然調査をしていくつもりだ。今回はマスコミの取材からで、情報の提供者も不明であり、工事名と業者だけ記されていたということ、入札をしてそういうことになれば対応していくと決めている。

**問** 入札の仕方の一つの提案だが、予定価格と最低制限価格を通知せよ。予定価格より高く書く人はいないし、最低制限価格より低く書く人もいない。改革を考えていると思うが、それがベストだ。

**答** 県の地方課の意見も聞きながら、良い方法を選択しながらやっていきたい。

## 用語解説

**落札率**（※1）  
予定価格に対して、業者が落札した価格の割合。

**純工事費**（※2）  
建設工事の請負遂行に直接的に必要なとされる原価で、直接工事費と共通仮設費（あるいは総合仮設費用）から成る。

**制限付一般競争入札**（※3）  
当該入札を適正かつ合理的に行うため、当該入札に参加する者に必要な資格を定め公告をし、当該資格を有する不特定多数の者をして入札の方法によって競争させ、最も有利な条件を提供した者との間に契約を締結する契約方式。

**意向確認型指名競争入札**（※4）  
指名登録業者の入札参加意欲及び技術的適性をよりの確に把握するため、入札参加者の選定に先立って、相当数の指名登録業者に対し受注意欲の確認を行い、指名業者を選定し、入札を行うもの。





## 総務

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。  
6月定例会開会中の主な審議内容を報告します。

### 道路整備状況の集落間の格差を是正せよ

**問** 町内を見回した中で校下ごと、集落ごとの道路整備状況の格差が広がっているように思える。7メートル道路を作って生活しやすい地区、そうでない地区がある。地方債も活用して早

期に格差の是正を進めてほしい。

**答** 7メートル道路は施策事業の中でやってきた。道路整備は地域の要望事業等いろいろあるが、できるだけ地域の要望に応えるよう努力していく。

**問** 地区ごとの格差があると認識しているか。

**答** 思っていない。地域の中に要望によっては差があることはあるが、行政の中では格差があるとは思っていない。



地域の要望により整備された町道坪野福野連絡線

## 教育民生

### 見守り隊等ボランティアに 予算的な配慮をできないか

**問** 各小学校に本年度より見守り隊を結成したが、その設置校はいくつあるか。

**答** 現在、町内8校中、全ての学校で結成もしくは結成に向けて準備中である。

**問** こういったボランティアについて、予算的な配慮をしてほしい。

**答** 教育長と協議しながら、できるだけ対応したい。

**問** 志賀診療所小児科の夜間の対応について、以前のように電話による対応ができるか。

**答** 小児科医師については、診療所に常駐していないため、夜間診療は対応できない。



高浜っ子見守り隊の隊員に見守られ登校する児童たち

## 産業建設

### 上水道料金 破損の場合減免できないか

**問** 上水道について、凍結等により管が破損して料金が高いということがありますが、こういったときに減額免除措置がない。他の市町で上限を定めていると聞いたことがあり、今後検討してはどうか。

**答** 旧富来町において、そのようなことが何件かあり、減額免除について話があったが、旧両町において今まで減額免除は行っていない。破損の状況について平等に判断できないため使用者に負担願っている。

### 議員の一言コーナー

#### 医・食・農を考える

30年前の私の学び舎の歌の一節に、「…集まる秀才 飲んだくれ 理想は高いが肥え担ぎました。今でこそ有機農業とか無農薬栽培とかを売り物にしていますが、かつてはそれが当たり前の風景であり、高等農林の学生も肥え担ぎが大きな日課だったよう

たようです。私の学生時代はすでに科学肥料でしたが、  
医・食・農という大きなタイトルをつけましたが、いずれも互いに深く関連し合っています。だが、いずれも大変な状況にあることも否定できません。よく言われますように地元で取れた旬の野菜

(堂下 健一)



宅内での漏水では自己管理の責任を周知していく  
(写真は配水管漏水修繕)

### 生活環境等対策特別委員会 (6月13日)

## 特別委員会レポート

### 硫酸ピッチの撤去を確認

田原地内で硫酸ピッチが入ったドラム缶が瓦工場跡地の倉庫から見つかった事件で、3月に県が行政代執行により全量撤去し、原状回復したとのこと。委員会では現地を視察しました。

また、羽咋市滝谷町内の羽咋市クレー射撃場に鉛弾が堆積し、坪野地区をはじめとする流域に鉛汚染が危惧

された件では、沈砂池の遮水シート工事および安全柵の設置工事が完成し、併せて、湧水が滞留せずに速やかに人口ゼオライト水質浄化装置で処理できることを現地で確認しました。本件は、今後

も本委員会が協議することとしました。他にも、郡市広域圏事務組合最終処分場予定地、梨谷小山産業廃



滝谷地内の水質浄化装置の状況を確認する委員ら



# 町政を問う!

## 5議員が登壇

<一般質問の会議録を全文公開>

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、一般質問の「会議録」を全文公開しています。

ぜひ、ご覧になってください。

# いっぱん 質問



土、日曜日及び祝日も開館して利用者に好評の町立図書館



### 総合窓口の時間延長を

南 政夫 議員

**問** 庁舎の総合窓口や図書館等の施設の利用時間を延長できないか。

**答** 町民の方々から、土曜日半日の業務や図書館等の施設の利用時間延長を望む声があるが、

### 前向きに取り組みたい

【答弁：細川町長】

**答** 総合窓口業務は、平日の時間延長が良いのが、休日の開館が良いのが、近隣市町の調査等もして前向きに検討したい。

図書館は夕方の方の利用者が非常に少ない。合併後第3日曜日と祝日の開館を実現したが、こちらは好評である。実情、現状にあった開館時間へと検討していきたい。

### 19年度からの導入を検討している

【答弁：柴田税務課長】

**答** システムの実証実験を行いながら、平成19年度から、全期一括納入を口座振替によってもできるように、また全納報奨金も受けられるように検討している。



19年度に廃止が検討されている堀松保育園

# 教育民生常任委員会 レポート

教育民生常任委員会では、閉会中の所管事務調査について5月10日、6月29日に委員会を開催しました。その審議内容について報告します。

### 廃止予定の3保育園は 保護者の意見を尊重し計画せよ

5月10日、町立保育園の適正配置について、担当課より現況等説明があり、その審議内容について報告します。

**問** 3園同時に休止すると、他の保育園に支障をきたすとは、具体的にどういうことが起きるのか。

**答** 3園同時に休止すると60人程度となり、高浜保育園など一部に集中した場合、施設規模的に対応しきれないことが考えられる。休止を1園ごとに実施すれば、すべての保育園で受け入れることができる。現段階で保護者の皆さんがどこへ入所させるか把握できないことや入所後に施設改修することが最低基準上困難なことからより段階的に分けた。

**問** 3園をすべて休止するの、それとも3園を1園にするということなのか。

**答** 統合は考えてなく、高浜保育園等に併合していきたい。3園を休止し、1園という考えはない。

**問** 園児が少ないことにより、保育等のレベルが落ちるのであれば統合は早く行なった方がいいのでは。

**答** 園児が少ないことにより集団的保育という意味合いが薄れてきている中で、子どもたちにとって適した保育環境を作ることや特別保育のより一層の充実を図り対応していく。休止予定年度としては、19年度に堀松保育園、21年度に加茂保育園

23年度に下甘田保育園と段階的に休止したい。

6月29日、町立診療所医師の常勤体制、デイサービスセンターの指定管理等説明があり、審議しました。

**問** 診療所は大きい施設ではないが、待合室は仕切らなければならないのか。

**答** 待合室で感染しないような体制をとりたい。

**問** 看護師4名で足りるのか。

**答** 勤務体制が通常9時間ということで、午前は4名だが、午後は3名なので若干不足するかもしれない。状況を見ながら協議してすすみたい。

### 親しまれる 議会広報づくり のために

議会広報研修会

親しまれる議会広報づくりのため、7月11日、石川県町議会広報研修会が金沢市内で開催され、委員が出席しました。当町の議会だより第3号については、概ね高い評価をいただきましたが、厳しいアドバイスもいただき、より良い紙面づくりに向け、大変参考になりました。





# 「町民の融和」には不均一項目の是正が不可欠

萬上 俊之 議員



**問** 富来8地区の町政懇談会では、不均一の是正が数多く取り上げられた。「極力早期に統一する」としているが、不均一な項目はあと何項目残っているか。



富来地域の町政懇談会では不均一項目は是正について数多く取り上げられた。

# 合併特例債を利用した新町まちづくり計画の全体事業に対する見込みはどうか

松島 信夫 議員



**問** 合併特例債を利用した計画として議会で提出された一覧表は、旧志賀町に約50億円、旧富来町の地域に約25億円の事業を予定しているものだった。国の財源不足で特例債事業の条件が厳しくなり



合併特例債を利用して整備される道路（坪野地内）

また、それら残された不均一を解消・統一するとしたら、かかるコストはいくらか。  
5年或いは10年ではなく、遅くとも今任期中に不均一を解消すべきと思うがどうか。

## 健全財政の前提に立った必要性からいくつかの項目で不均一の調整が図られている

【答弁：細川町長】

**答** 今後、調整が予定されているのは、固定資産税の税率、国民健康保険税の賦課方式、上水道料金及びメーター器使用料と新設加入金、下水道関係では使用料、分担金である。更に、不均一の事業及びサービスの協定がされているのは、まず集会所施設整備補助金、農林水産関係では受益者負

## スポーツ振興で町の活性化 一体感の醸成を図れ

**問** 町の活性化及び一体感醸成の一環として、更なるスポーツ振興を後押しするため、スポーツ報奨金制度を設立してはどうか。  
また、レスリングやホッケーに代わる、新町に

## あらゆるスポーツの振興を関係団体と連携しながら図る

【答弁：青山教育長】

**答** 小・中・高校生を対象としたスポーツ報奨金制度はないが、教育委員会としては児童生徒に対しては、報奨金よりも顕彰による称え方のほうが教育面でより望ましいと考えている。なお、大人を対象にした報奨金制度につきましては、体育協会の方で検討しており、本年度は成績に係るポイント制等を導入して活動費の強化育成を図っている。  
新町発足後1年目でもあり、これまでの経緯から当面はレスリング、ホッケーの2種目を重点的な競技として位置づけていきたい。  
町としては新たに重点種目を指定して強化するというのではなく、あらゆるスポーツの振興を関係団体と連携しながら図っていききたい。

## 国の事業認定の厳格化が要因となり、充当事業及び充当額の見直しは避けられない

【答弁：細川町長】

対応できないものがあるようだが、全体事業に対する見込みはどうか。  
町民は以前出された計画書を新たに変更・見直しせずに実施することを期待している。

**答** 国の三位一体の改革による公共事業に対する国庫補助金の廃止や、重点事業であるCATV事業をはじめとする事業本体の見直し、加えて合併特例債事業認定の厳格化が要因で、充当事業及び充当額の見直しは避けられない状況だ。  
合併特例債は、有利な交付税措置のある合併した町の特典であるので、限度額の全額を借り入れして、町民の行政サービス向上に活用したい。

## 原子力発電所2号機にかかる自治振興基金の配分計画を示せ

**問** 合併時の協定項目の中で、旧志賀地域に係る配分を、41億円としたはずだが、この配分計画のうち、旧志賀町地区自治振興基金としてどれだけ積み立てる計画か。

【答弁：細川町長】

**答** 旧志賀地域の振興事業費に充当するため、(仮称)志賀地域特別振興基金として約41億円積み立てる予定だ。  
自治振興基金にどれだけ配分し積み立てるのかいつから積立し、集落へ交付するか、1号機と同じ制度を採用し、集落ごとに均等割と世帯割として積算するなどを含め、19年度以降の対応であり、十分検討して対応したい。

## 県作成の集会所の地図は改善と再発行を申し入れるべき

**問** 先日、「避難の指示が出た時に集合する集会所」の地図が各家庭に配布されたが、近年開通された道路が記載されていない。防災上、とても大事な地図であるはずなのに、町はチェックできないのか。

## 今後は最新の情報が記載されるよう努めたい

【答弁：

藤澤生活安全課長】

**答** 平成16年度の国土地理院のものを参考にしたもので、全ての道路を入れると見づらくなるため、大部分を省略した。  
今後作成する際、最新の情報が記載されるよう見直しを行い、分かりやすく適切な表現となるよう努めたい。

## 町の活性化のため町内金融機関から借り入れできないか

**問** 18年度予算の中で総合中学校やデイサービスセンターの建設工事に漁業特別振興基金など一部基金を取り崩しているが町の活性化のため、町内金融機関から借入できないか。

## 歳入予算の不足を金融機関から借りて予算に組み入れることはできない

【答弁：細川町長】

**答** 歳入予算の不足を金融機関から借りて、予算に組み入れることはできないことになっている。  
歳入歳出予算に計上したものが、会計年度内において収支のギャップのために一時的に不足する場合には、一時借入金制度があり、常に金融機関から調達して対応している。





渤海からの使節が来航したといわれる福浦港

## 渤海国交流の 継続発展を

堂下 健一 議員



**問** 旧富来町の継続事業の中でも、渤海国交流事業は全国からも高く評価されており、特筆に価するものである。新町でもこの事業を継続発展させる考えはないのか。

**答** 旧富来町の継続事業の中でも、渤海国交流事業は全国からも高く評価されており、特筆に価するものである。新町でもこの事業を継続発展させる考えはないのか。

## 一般住居、事業所の アスベスト対策はど うなっているのか

**問** 一般住居、事業所のアスベスト対策はどうなっているのか。

**答** 町民から相談があれば、検査機関の紹介や検査費用等の説明、アスベスト処理の相談には解体撤去業者のリストの案内をしている。アスベストの使用に携わってきた人の調査については、町の健康診断において問診事項で聞き取り調査をしている。

## 新たな視点で価値 を見出し模索して いく必要がある

【答弁：細川町長】

**問** 新たな視点で渤海国との交流の歴史と文化を学ぶ取り組みについて、価値を見出し模索していく必要があると考えている。

## 原発防災計画は間尺 にあっているのか

**問** 3月24日の原発2号機判決では、耐震性に対する国の安全審査を全面的に否定している。また地震が起きた場合、電力の構築した多重防護が有効に機能しないと断定している。屋内退避・避難に重点を置いている原発防災計画では、町民の生命財産を守れず、広域避難も含めて考え直すべきではないか。

**答** 3月24日の原発2号機判決では、耐震性に対する国の安全審査を全面的に否定している。また地震が起きた場合、電力の構築した多重防護が有効に機能しないと断定している。屋内退避・避難に重点を置いている原発防災計画では、町民の生命財産を守れず、広域避難も含めて考え直すべきではないか。

## 残余のリスクどう 対処するのか

【答弁：細川町長】

**問** 原子力安全委員会は耐震性の新しい指針を4月28日に発表した。そこに残余のリスクという新しい概念を取り入れている。残余のリスクとは指針を策定してもなお、その想定が突破されて地震による事故が起きるかもしれない。いかなる地震にも原発は耐えなければならぬ、というのが現行指針であり、原発推進の判断基準が変えられたのだから、判断をし直すべきではないか。

## 判断基準が明確に されたときリスク の低減を求める

【答弁：細川町長】

**問** 国の厳しい安全審査によって原発の耐震安全性は十分確保されていると思うが、残余のリスクについての判断基準が明確にされたとき、当然そのリスクの低減を求めていく。

## タービン羽根損傷 事故どう対処し たのか

【答弁：細川町長】

**問** 浜岡5号機、志賀2号機はABWRと呼ばれ、鳴り物入りで導入された最新鋭機。電力は、安全性と耐震性は確保されていると言明しているが、現実には全ての発電施設に共通・不可欠の「タービン」の重大事故。最新鋭機どころか、発電の基礎・基本のところまで技術の欠陥とお粗末さを露呈している。

## 安全性を最優先に 取り組む

【答弁：細川町長】

**答** 安全性を最優先にして取り組むよう指導していく。



混雑解消のためスムーズな検診業務が期待される

## 集団検診は 日程を見直すべきだ

寺岡 真貴子 議員



**問** 6月の集団検診で富来地域では受診箇所が減り大変な混雑であった。検診日程を見直すべきだ。受付制の導入も検討しては。

## スムーズな検診 業務に努めたい

【答弁：

**問** 今年度の状況を把握し、来年はスムーズな検診業務に努めたい。受付方法は、今年度からどの会場でも受診できるシステムを始めたので来年も続けたい。

**答** 今年度の状況を把握し、来年はスムーズな検診業務に努めたい。受付方法は、今年度からどの会場でも受診できるシステムを始めたので来年も続けたい。

**問** もうじき新たな骨密度測定器が納入されるそうだが、集団検診時に骨密度測定を行ってはどうか

**答** 今年度は各地区の健康活動に併せて骨密度測定を実施する。保健福祉センターに常備し、要望があればいつでも測定できる体制をとりたい。

**問** 集団検診時の歯科指導や、歯科の施設検診を導入することはできないか

**答** 現在、特定年齢時に実施している歯科指導を今後は全ての検診時に実施したい。歯科医師会等

に協力を求めると共に保健師による歯科指導にも取り組むたい。

【答弁：

**問** 富来病院にマンモグラフィ検査機器を導入し、施設検診にも対応できないか。また、人間ドックを充実できないか。

**答** 検査機器は高額で、担当である外科医が非常勤のため難しいが、機器を保有する近隣病院と提携し、マンモグラフィ検査業務委託後、診断・フォローを行う等の対応をする。現在、人間ドックは1泊2日の基本的な検診を行っており、脳MRI検査も行っている。専門的検査ができないことや検査日が限られているため低利用率に留まっているが、今後は利用率を上げるよう設備や広報の充実を図りたい。

## 選考委員会と調査委 員会は独立性を保て

【答弁：細川町長】

**問** 工事等請負業者選考委員会と公正入札調査委員会はそれぞれ独立性を保ち、厳格に透明性を確保すべきだ。構成員は兼任を控えるべきだ。

**答** 公正入札調査委員会は業者間の談合を想定して設けたもので、今回のように官製談合とされた場合には、助役2人でそれぞれ責任分野を別にすることを検討したい。

## 助役2人で責任分野 を別にするを 検討したい

【答弁：細川町長】

**問** 罰則規定を厳格に設け談合抑制すべきだ。損害賠償の予約条項を設けては。

**答** 「すぐに実施するもの」と「他の市町の入札方法を参考に検討するもの」2段階構えで行いたい。純工事費の事前公表の廃止、入札参加業者数の拡大はすぐに取り組む。また、制限付一般競争入札や意向確認型指名競争入札等の導入を検討している。

## 純工事費の事前公表の 廃止、入札参加業者の 拡大はすぐに取り組む

【答弁：細川町長】

**問** 徹底した入札改革に早急に取り組むべきだ。いつ頃までに、どのように改革するのか。

【答



# 第17回富来を描く美術展「テレビ金沢賞」の作者に聞く!!



作品名「濱小屋」



松本 早苗さん(七尾市)

芸術文化の振興を願い、美しい能登金剛の自然をはじめ、夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。  
 昨年の11月には第17回の審査が行われ、次の方が、テレビ金沢賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

この作品は何十年も支えた濱小屋の柱を私の色で一気に描いたものでした。  
 受賞は思いもよらぬうれしい知らせで、一晩中興奮して眠れないほど感激しました。これを機に来年も半歩ずつでも前進して行こうと思えます。

## 私たちの議会傍聴記

7月5日・12日の第2回志賀町議会定例会に議会傍聴をしてくれた方々のうち、3人の意見・感想を掲載します。

### 町民一人ひとりが町政に関心を



室谷加代子さん(福浦港)

合併したこともあり、以前から傍聴したいと思っていたが、今回やっと聞くことができた。

女性議員が集団検診について一般質問したが、医療、健康面にと、とても勉強されていて、大変良かったし、女性ならではの提案だと感心した。

ただ、私は議会にはもっと大きなビジョンを描いて、町をこんなふうにしていこうというものを期待している。

そうなるためには、私たち町民一人ひとりをもっと町政に関心を持ち、自分たちが選んだ議員さんと、もっと話しをし、意見を言い、意思の疎通を図り、その意見が議会に活かせるようになればと思った。

### 年長議員を含めた多くの質問者を期待



三田 俊雄さん(尊保)

昨年9月に合併して以来、私は毎回議会を傍聴しているが、今回は特に町発注工事の指名競争入札で談合情報の件に関して高い関心があった。

幸い二人の議員の方がこのことについて、質問を行い、町民の関心の高さが伺われた。

また、住民サービスの低下に繋がると思われる各種検診にも触れられ、内容のある質問であった。

毎回質問される方は大変だろうと思うが、今後は年長議員も含め、近隣市町のように多くの質問者を期待している。それにより、議会傍聴者も多くなると思う。

### 議会人の信念に期待します



中川 洋さん(高浜町)

久しぶりに傍聴に来たが、自分の町に関心がないのか、諦めなのか、傍聴人の少なさに驚いた。

この日は沢山の案件の議決の日。談合問題で揺れ動く志賀町。なあなあで終わらす事のないように、議員の信念を見せていただきたい。原発を持つ志賀町は、良いにつけ悪いにつけ注目されている。議長、副議長を決めるのに、椅子取りゲームのような事はやめていただきたい。こんな事まで慣例では、本当に町民の代表なのか心配になる。  
 町民の皆さんも、もっと議会に関心を持ちましょう。私たちが大切な生活の場なのでから。